

株式会社 ヒノキヤグループ

2019年1月1日

報道関係各位

年頭所感

2019年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年当社は、創業30年という節目の年に念願であった東証一部に上場することができました。長年に渡って当社を支え応援していただいたすべてのステークホルダーの皆様に感謝申し上げます。

さて、昨年は漢字一文字に「災」が選ばれるほど災害の多い一年でした。全国で地震や台風、豪雨による甚大な被害があり、夏の暑さも「災害級」といわれ、気候変動を実感する1年でした。

そのような中、当社グループは、従来と同等の電気代で24時間365日、家中どこでも快適に過ごすことができる新時代冷暖システム『Z空調』を搭載した住宅を拡販してまいりました。『Z空調』は、ヒノキヤグループの主力事業である「注文住宅事業」と「断熱材事業」のシナジーから生まれ、2016年12月の発売以来、累計5,000棟を超える搭載実績があります。昨年11月からは『Z空調』を日本アクアと共同で全国の工務店・ビルダーに向け販売を開始しました。夏暑く、冬寒い日本の住環境を革新的に変えていく『Z空調』をより多くのお客様へ届けていきたいと考えています。

本日よりヒノキヤグループは新年度を迎えました。同時に、災害に強いプレキャストコンクリート住宅販売を手掛けるレスコハウスと、戸建賃貸を手掛ける桧家不動産のランデックス事業部が一つになり、株式会社ヒノキヤレスコムもスタートします。住宅販売だけでなく土地オーナー様への提案力を強化してまいります。また、ベトナムではプレキャストコンクリートパネルを製造する工場が現地企業との合弁で操業する他、住宅開発プロジェクトにも参画し準備を進めています。

本年は増税を控え、住宅に関するニュースもメディアを賑わせておりますが、「最高品質と最低価格で社会に貢献」の経営理念の下、ヒノキヤグループの様々な製品やサービスを通じて、お客様に寄り添い安心していただける「暮らし」と「住まい」のご提案をしてまいりたいと考えております。

本年も皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上

代表取締役社長
近藤昭